

ベトナム反戦体験から 「戦後」日本を問う

北爆開始から50年目、ベトナム戦争終結から40年目にあたる2015年、当時撮影された脱走米兵の映像が公開されました。また、当時脱走米兵をかくまひこの映像を撮影したジャーナリストの小山帥人さんがかつてかくまった人物を訪ねるテレビ・ドキュメンタリーも制作され、大いに注目を集めています。約50年をへだてて撮影されたこの2つの映像は、ベトナム反戦体験から「戦後」日本を問い直すうえでの重要な手がかりであるといえるでしょう。そこで、このたびの国際ワークショップでは、小山さんに加えて、ベトナム戦争当時の脱走韓国兵の問題を追いかけておられる権赫泰さんや、神戸でベトナム反戦運動を担った当事者の方々をお迎えして、ベトナム反戦体験から「戦後」日本を考え直す機会を持ちたいと思います。権さんをお迎えすることで、東アジアという視野での議論が可能になるものと期待しています。多くの方々のご参加をお待ちしています。

趣旨説明

宇野田尚哉 (大阪大学文学研究科准教授)

報告

小山帥人さん (ジャーナリスト)

我が家に来たアメリカ人脱走兵

報告

権赫泰さん (聖公会大学日語日本学科教授)

韓国人密航者・脱走者と
日本の社会運動

リレートーク

元ベ平連こうべのみなさん

解説

黒川伊織さん (神戸大学国際文化学研究所協力研究員)

質疑応答の時間を適宜設けます

2016年

1月10日 [日] 13:30-18:00

神戸センタープラザ西館6階会議室 17号室

<http://www.kscp.co.jp/access/index.html#a01>

神戸市中央区三宮町2-11-1 JR三ノ宮駅・阪急三宮駅西口、もしくはJR元町駅東口から、徒歩5~7分



主催：大阪大学文学研究科「グローバル日本研究クラスター」

連絡先：宇野田尚哉 (unoda@let.osaka-u.ac.jp)